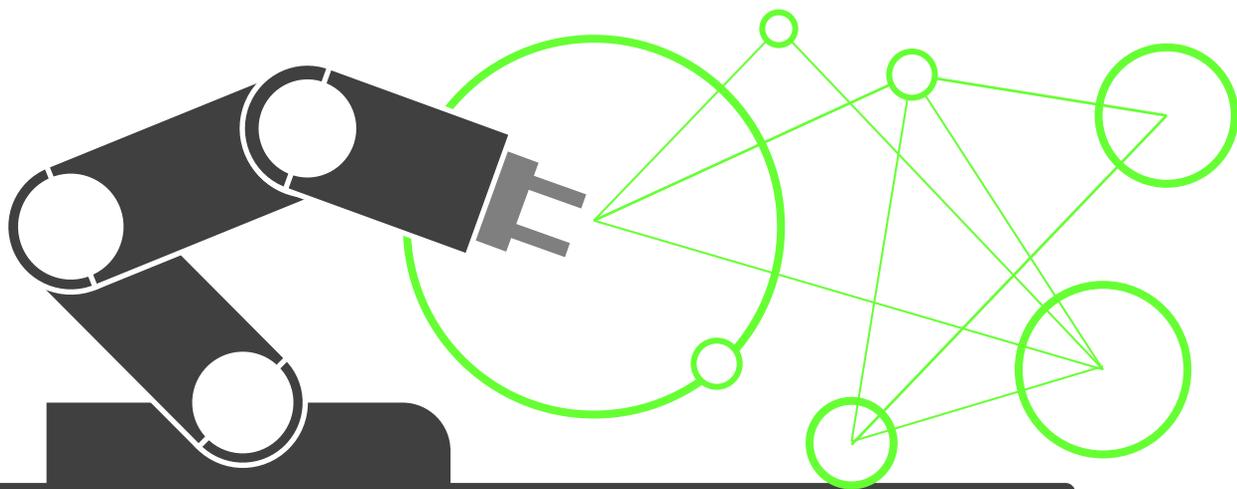


令和6年度山形県デジタルものづくり人材養成事業
(厚生労働省「地域活性化雇用創造プロジェクト」採択事業)

ロボット技術者養成研修

ロボットハンド
(ハード設計)
定員15名



ロボットハンドの設計技術と、 ロボットのティーチングについて学ぶ

本研修では、産業用ロボットによるピック&プレースのシステムインテグレートができるようになることを目指し、吸着と把持の2種類のロボットハンドの設計技術とロボットのティーチングについて学びます。

ロボットハンドの把持力に関する基礎的な知識を学んだ後、様々な種類のロボットハンドの特徴や、ロボットハンドの設計に必要な空圧機器の取扱いについて詳しく学びます。

実習では、産業用ロボットへのロボットハンドの取り付け方と操作方法を学ぶ他、把持力の理論計算値と実験値との比較を通じて安全率の考え方について解説します。さらに、ダブルハンドを設定した際のツール座標系の設定方法や活用などの実習もあり、実践的なインテグレートを学べる研修となっています。

ロボットシステムインテグレータにとって必須の技術を学ぶ研修です。ぜひ、ご受講ください。

日程：令和6年

9月4日(水)~5日(木)

受講料：

15,000円(求職者は無料)

申込み締切：令和6年

7月31日(水)

講師：

**株式会社エイジェック
山形県工業技術センター**

ロボット技術者養成研修（ロボットハンド） 募集要項

事業目的	山形県内の製造業に属する事業所に勤務する技術者を対象に、産業用ロボットを活用するための知識とスキルを体系的に身に付ける研修を実施することにより、当該事業所のロボット分野への進出を促進し、雇用の安定を図ることを目的とする。
内 容	ロボットの活用に必要なロボットハンドの設計技術とロボットティーチングについて学ぶ。（詳細はカリキュラムをご覧ください。）
日 時	第1日 令和6年9月4日（水） 9：00～16：30 第2日 令和6年9月5日（木） 9：00～16：30
会 場	山形県高度技術研究開発センター 共通機器室（山形市松栄2-2-1） 山形県立産業技術短期大学校 実験研究棟22教室（山形市松栄2-2-1）
講 師	株式会社エイジェック 山形県工業技術センター
受講対象	・生産技術や設備設計・製作企業における経験が3年程度までの方 ・産業用ロボットの導入を検討している企業の方 ・求職活動の一環で技術習得を希望する求職者
申込資格	・山形県内の製造業の事業所に勤務する方 ・山形県内に就職を希望する求職者
申込締切	令和6年7月31日（水）
定 員	15名（応募者多数の場合は、ロボット分野に進出している企業の受講を優先し、1社あたりの応募人数の調整やお断りの連絡をさせていただく場合がございますのでご了承ください。）
受講料	・事業所に勤務する方：15,000円 ・求職者：無料
受講手続	別紙受講申込書に記入の上FAX(023-647-3139)もしくはメール(jinzai@ynet.or.jp)にてお申込み下さい。後日、受講決定通知書と県の納入通知書をお送りします。
納入方法	受講料は、後日送付される受講決定通知書及び県の納入通知書が届いてから、納入通知書を添えて所定の金融機関の窓口で納付してください。 なお、納付いただいた受講料は、原則としてお返しできませんのでご了承ください。
修了証書	所定の課程（研修時間70%以上の出席）を修了した方には修了証書が授与されます。
申込み・ 問合せ先	（公財）やまがた産業支援機構 人づくり支援部研修実施グループ 橋本／小林 〒990-2473 山形市松栄二丁目2-1 （山形県高度技術研究開発センター内） TEL：023-647-3154 FAX：023-647-3139

お知らせ

公益財団法人山形県企業振興公社と公益財団法人山形県産業技術振興機構は、
令和6年4月1日に合併し、「公益財団法人やまがた産業支援機構」となりました。

ロボットハンド 研修カリキュラム

月日	時間	内 容	講 師
9月4日 (水)	9:00 ～ 12:00	●ロボットハンド概論 主な把持形態と動力元（エア、電動、磁気） 設計における把持力の考え方、など ●ロボットハンドに使用される機器の基礎 ①電動グリッパ ②真空パッド ③エアチャック ④ソフトハンド ⑤マグネットグリッパ ⑥溶接ハンド ⑦塗装 ●エンドエフェクターに使用される機器の基礎 ①接触系センサ ②画像系センサ ●ロボットハンドに使用される機器の使い分け ①ワークに応じた選択 ②把持の確認方法（使用機器に対応するセンサ） ●動力に関わる空圧の基礎研修	株式会社 エイジェック 大場 精一 氏 松浦 昌昭 氏 鈴木 伸人 氏
	13:00 ～ 16:30		
9月5日 (木)	9:00 ～ 12:00	●実際のロボットでの利用 ①産業用ロボットへのハンドの取り付け・操作 ワークに応じたハンドの選定と把持効果の確認 ②協働ロボットへのハンドの取り付け・操作 ③テスト機材による把持力の計算と計測 ＊グループに分かれ①～③を交代で行います。	山形県 工業技術センター 齊藤 梓 氏
	13:00 ～ 16:30		

◎使用機材 デンソーウェーブ社製 産業用ロボット VP6242
 ファナック社製 協働ロボット CRX-10iA

< 本研修の受講にあたり、下記事項についてご承知ください >

1. 受講者が研修施設、機器及び器具等を故意または重大な過失により破損した場合には、その損害については、賠償していただくこととなります。
2. 研修中に発生した一切の傷病については、県および機構は責を負いかねます。
3. 本事業は厚生労働省「地域活性化雇用創造プロジェクト」の採択を受け、厚生労働省の雇用開発支援事業費等補助金を活用しており、事業の目標を設定し成果として報告する必要があるため、研修実施後に次の項目について聴き取りを行いますので予めご了承ください。
 - ・受講企業が採用した正社員の人数、氏名・性別・職種・採用年月日・採用後の離職の有無。
 - ・求職者の研修受講後の就職の有無。
4. 風邪の症状や発熱など、体調不良がみられる場合は参加をお控えください。
5. 本研修修了証により、雇用保険受給の際の求職活動1回分としてハローワークに認定されます。

令和6年度 公益財団法人やまがた産業支援機構 研修事業概要

種別	No.	コース名	研修概要	期日	日数	定員	受講料	事業名	
階層別研修	管理者	1	ものづくり産業マネジメント人材育成研修	ものづくり企業の経営者等を対象に、経済、社会の新たな変革に対応する柔軟な思考力を養成し、多様な社員一人ひとりが、個性を活かしながら主体的に働ける自走型の魅力ある企業づくりを目指す。	9/26 10/3 10/16 10/25 10/31	5日	15	20,000	次世代
	リーダー・中堅	2	現場リーダースキルアップ研修(一般対象)	企業の組織力の強化を図るため、部下の積極性・意欲を高められるよう現場リーダー層の指導力向上を目指した研修を実施する。	11/13 11/14	2日	15	5,000	成長分野
		3	中堅社員研修	中堅社員としての役割を認識すると共に、対人スキルやマネジメント力の向上を図る。また、自己を見つめ直す事で課題や問題点を明確にし、自己成長を促す。	12/5 12/6	2日	15	5,000	
	初任者	4	ものづくり人材初級研修	ものづくり産業の基本や産業人の心構えを学ぶことにより、社員の意識向上、離職防止を図る。	10/22 10/23 10/24	3日	15	7,500	
課題別研修	女性活躍	1	現場リーダースキルアップ研修(女性対象)	女性が現場で活躍していくための課題と対策について女性同士で学び、女性リーダーのモチベーションアップを目指す。	7/11 7/12	2日	15	5,000	成長分野
	発想力	2	発想力・思考力強化研修	事例紹介やワークを通して思考法を学び、ものづくりに必要な「柔軟な発想力」の強化を目指す。	5/28 5/29	2日	15	5,000	デジタルものづくり
	デジタルものづくり	3	ロボット技術者育成研修(ロボットハンド)	ロボットの操作実習を通じて、ロボットハンド設計技術やワークに応じた把持計画などの専門的なスキルの習得を目指す。	9/4 9/5	2日	15	15,000	
		4	ロボット技術者育成研修(ロボットビジョン)	ロボットの操作実習を通じて、ロボットの制御プログラムやロボットビジョンの活用などの専門的なスキルの習得を目指す。	12/4 12/5	2日	15	15,000	
		5	デジタル設計技術者養成研修 基礎コース	付加価値の高い設計業務へのシフトに向け、設計業務のDX化のメリットを学び、シミュレーション技術の基礎的な知識を身に付ける	7/10 7/11	2日	15	15,000	
		6	デジタル設計技術者養成研修 実践コース	部品の軽量化における材料や構造を変更する事例など、実践的なテーマを取り上げ、実務に即したCAEの活用方法を学ぶ。	11/20 11/21	2日	15	15,000	
職能別研修	生産管理	1	生産管理研修	生産管理を基本から学び、生産現場のムダを排除し合理化を図り、コストの削減や仕事を効率良く進めるための知識と考え方の習得を目指す。	8/22 8/23	2日	15	5,000	成長分野
		2	在庫管理研修	在庫管理の仕掛けと仕組みについて基礎的な知識を学び、問題解決に向けて実践できる手法をケーススタディ等で習得する。	6/18 6/19	2日	15	5,000	
		TWI	3	TWI研修	TWI-JM(改善の仕方)、TWI-JI(仕事の教え方)、TWI-JR(人の扱い方)について学び、現場リーダーの管理能力の向上を目指す。	9/5 9/6	2日	15	
	品質管理	4	品質管理	品質管理の考え方と実践を具体的な事例を通して学び、自らが中心となって課題解決や改善をしていくことができるレベルを目指す。	6/6 6/13 6/20 6/27	4日	40	24,000	技術者
		5	製品設計・製造に役立つ金属材料学	金属材料の基礎的な知識、強度試験、硬さ試験、組織観察等の評価方法、材料特性と組織の関係等について学ぶ。	11/6 11/7	2日	15	24,000	
		6	清酒製造技術	各県を代表する有力杜氏や製品の製造に係る技術者等を招聘し、酒質の変遷や今後の市場動向、新技術について学ぶ。	8/8 8/9 9月	4日	32	24,000	
		7	食品の衛生管理と表示の基礎	微生物検査、異物鑑別、食品に関する表示等の食品の安全性の確保と信頼性向上に関わる基本的な知識の習得を目指す。	10/9 10/10	2日	15	24,000	
展示	1	自動車部品ライブラリーの展示	自動車部品ライブラリーの展示及び部品貸し出しの実施 【展示場所:山形県高度技術研究開発センター 玄関展示ロビー】	通年	-	-	-	成長分野	

- ◆ お問い合わせ先 公益財団法人やまがた産業支援機構 人づくり支援部 研修実施グループ
〒990-2473 山形市松栄2-2-1 山形県高度技術研究開発センター内
TEL : 023-647-3154 / FAX : 023-647-3139 / E-mail : jinzai@ynet.or.jp
- ◆ 募集案内および応募方法は、おおよそ1か月前にホームページ <http://www.ynet.or.jp>に掲載予定です。
- ◆ 内容、期日、定員等については都合により変更になる場合があります。

※事業名 次世代:次世代産業人材育成事業 成長分野:成長分野参入人材育成事業 デジタルものづくり:デジタルものづくり人材養成事業 技術者:技術者研修事業

作成: R060527

令和6年度ロボット技術者養成研修

「ロボットハンド」受講申込書

開催日: 令和6年9月4日(水)~5日(木)

本事業は厚生労働省「地域活性化雇用創造プロジェクト」への採択を受け、厚生労働省の雇用開発支援事業費等補助金を活用しており、事業の目標を設定し成果として報告する必要があるため、研修実施後に次の項目について聴き取りを行いますので予めご了承ください。

- ・受講企業が採用した正社員の人数、氏名・性別・職種・採用年月日・採用後の離職の有無。
- ・求職者の研修受講後の就職の有無。

上記説明について、理解しましたので、下記のとおり申込みます。
※確認の☑を入れてください。

受 講 者	ふりがな				
	氏名				
	所属部課名 求職者記載不要		性別	男・女	
	勤続年数 求職者記載不要	年	年齢	歳	
	産業用ロボット 操作経験 年数	年	経験のある産 業用ロボッ トのメーカー名		
受 講 者	ロボット分野 への進出につ いて(該当箇 所に○を付け て下さい) 求職者記載不要	既に進出している	進出する予定がある	進出の予定はない	
	会社名 求職者記載不要				
	所在地	〒			
	TEL		FAX		
	メールアドレス 求職者のみ記載				
	連絡担当者 求職者記載不要	所属部課名			
		氏名			
メールアドレス					

※ 応募者多数の場合は、1社あたりの応募人数の調整やお断りの連絡をさせて頂く場合がございますのでご了承ください。